

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月25日

計画の名称	江戸川区における高台まちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	令和06年度～令和06年度（1年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	江戸川区												
計画の目標	防災まちづくりを強力に推進するため、国と東京都は『災害に強い首都「東京」形成ビジョン』を令和2年12月に公表し、「高台まちづくり」のモデル地区の一つとして船堀地区が設定された。 また、その具体化に向けて江戸川区は「船堀駅前地区高台まちづくり基本方針」を令和5年3月に公表し、建物群による高台まちづくりの実現を目指すこととしている。 本計画では、非浸水動線の確保を実現するため、歩行者デッキ等の調査・設計を実施することを目標とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	185	A	185	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	本区のモデル地区における高台まちづくりを推進するため、歩行者デッキ詳細設計を実施する。 歩行者デッキ詳細設計の進捗率	R6当初	—	R6末
		0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	江戸川区	直接	江戸川区	-	-	都市安全確保拠点整備事業	歩行者デッキ詳細設計	江戸川区						185	-	
											小計						185		
											合計						185		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
江戸川区内部で事後評価を実施	令和8年3月
	公表の方法
	江戸川区ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	歩行者デッキの設計が完了したことで、防災活動拠点となる各施設の連携が可能となり、本地区における建物群による高台まちづくりが推進された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	歩行者デッキの設計が完了したことにより、「船堀駅前地区高台まちづくり基本方針」に基づく歩行者デッキの基本モデルが確立され、今後の設計の効率化が図られる。
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	歩行者デッキ詳細設計の進捗率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%